

第2章 基本計画策定の目的

第2章 基本計画策定の目的

道の駅「北条公園」は、休憩・情報発信・地域連携機能が集積する「国道9号南エリア」と、北条オートキャンプ場を主体とする「国道9号北エリア」によって構成されており、相互が補完し合いながら地域の集客・交流拠点としての役割を担っています。しかしながら、平成5年の道の駅登録から約26年が経過し、施設の老朽化や多機能化への対応の遅れ、周辺道の駅との競合による入込客数の減少等、様々な課題が出てきているところです。その一方で、道の駅「北条公園」周辺では、山陰道や国道313号北条ジャンクションが将来開通予定であり、人とモノの動きが大きく変化することから、道の駅への立ち寄りをいかに向上させるかが大きな課題となっています。また、道の駅に求められる社会的役割も変わってきており、昨今の災害発生状況を踏まえ、災害時の避難所及び復旧・復興の拠点としての機能も求められます。

このような状況を踏まえ、北栄町では平成29年度に「道の駅「北条公園」周辺一体開発に係る基本構想」を策定し、南北施設が一体となった道の駅の開発計画をとりまとめることとなりました。

本基本計画の策定にあたっては、敷地分析やニーズ調査を行うことによって、整備の基本的方向、導入施設の内容・概略規模等を設定し、事業スケジュールなど事業計画を立案する際の方針を定めました。また、道の駅「北条公園」運営連絡協議会の開催により合意形成を図るとともに、関係機関との打合せ協議内容等を反映させ、基本構想をより実現性の高いものとしています。

■道の駅「北条公園」区域図

